日本建築学会中国支部建築計画委員会シンポジウム

## 中国地方の中山間地域における住民主体による小学校存続の取り組み

■趣 旨:中山間地域や島嶼部では、過疎化、高齢化の問題により、住み続けられる住環境の確保が大きな課題となっている。そのような中、「小学校存続は居住地としての持続性につながる」という思いから、地域住民が小学校存続のために積極的に取り組んでいる事例が、中国地方においていくつか見られる。このような、学校の統廃合と地域コミュニティ存続の問題について広く考える場を設け、情報を共有することを目的としてシンポジウム開催する。

■期 日:2014年2月22日(土)13:00~16:00

■会場:県立広島大学・サテライトキャンパスひろしま・504 講義室 (広島県民文化センター5階/広島市中区大手町1丁目5-3)

■対象者:一般市民, 行政職員, 研究者

■主 催:(一社)日本建築学会中国支部建築計画委員会

■問合先: y.fukuda.bv@it-hiroshima.ac.jp (福田)

## ■内 容:

1. 課題解説

…山本 幸子 さん (筑波大学)

- 2. 事例報告
  - ①福山市広瀬学区の活動
    - …松本 健司 さん (広瀬学区教育後援会)
  - ②三次市青河地区の活動
    - …岩崎 積 さん (有限会社ブルーリバー)
  - ③安芸太田町上殿地区の活動
    - … 辰見 勇 さん (NPO 法人上殿未来会議事務局長)
  - ④転入住民からの報告
    - …影井 伊久美 さん (安芸太田町上殿地区住民)
- 3. 全体ワークショップ コーディネーター…福田 由美子 さん (広島工業大学)

